

医薬品リスク管理計画  
(RMP)

本資料はRMPの一環として位置付けられた資料です

トルツ®で治療を開始される方へ

# トルツ®皮下注 80mg シリンジ 使い方クイックガイド



Lilly



## はじめに



本剤は1回使い切りの注射剤です。  
注射器には  
1回分の薬液があらかじめ  
充填されています。  
1回で全量を使用します。

## 気を付けるべき症状

注射後に、いつもとは違う何らかの異変を感じたり、アレルギーを疑う症状が出た場合には、速やかに主治医にご連絡ください。特に、下記のような症状があらわれた場合は、次の受診日を待たずにすぐに病院に連絡し、受診するようお願いします。

- 発熱、咳、鼻水、のどの痛み、頭痛、悪寒など、風邪のような症状が続く。
- 皮膚に今までとは違う発疹(蕁麻疹など)、かゆみが出た。
- 息苦しい(呼吸困難もしくは喉が締め付けられる感じ)。冷や汗が出る。動悸がする。
- いつも以上に体がだるい、疲れやすい。
- 卒倒しそうになる。
- 顔、まぶた、唇、口、舌やのどが腫れた。
- 胸の圧迫感がある。

## 保管方法

### 守っていただくこと



本剤は外箱に入れたまま、冷蔵庫(2~8℃)に保存してください。



本剤を冷蔵庫から取り出し、ご使用になる前に30分間、室温に置いておくことが望ましいです。

### してはいけないこと



本剤を凍結させないでください。もし凍結させてしまった場合は、使用しないでください。



本剤を電子レンジで温めたり、お湯をかけたり、直射日光の当たるところに放置しないでください。

本剤を激しく振らないでください。

① 冷蔵庫から取り出し30分間置いて、室温に戻しておきましょう。

② 必要なものをそろえます。

- 消毒綿1枚(注射前用)
- カット綿、ガーゼ又は消毒綿1枚(注射完了後用)
- 専用廃棄用ボックス又は廃棄用の容器1個

③ 中に入っている薬液は無色か、わずかに黄色が掛っています。次のような場合には、本剤を**使用せず**、医療従事者の指示に従ってください。

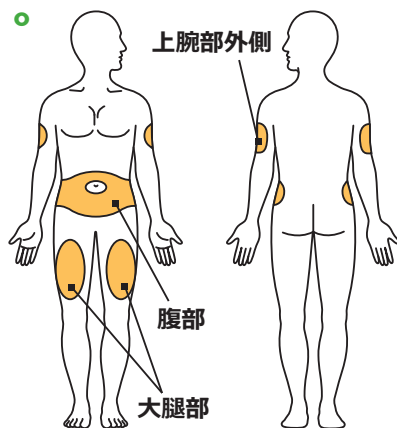
- 使用期限が切れている。
- 破損している。
- 薬液が濁っている、明らかな褐色をしている、小さな異物が混入している。

④ 注射をする前に手を洗ってください。

⑤ 注射部位を決め消毒します。

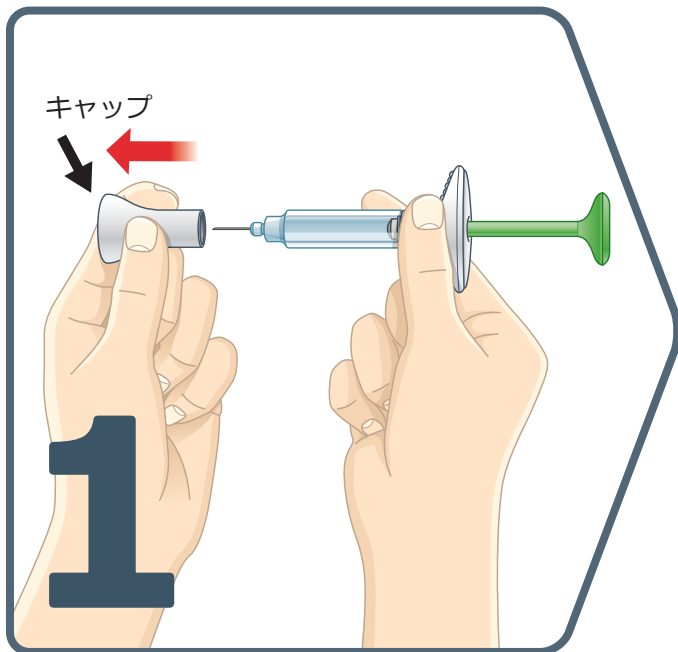
太もも(大腿部)、お腹(腹部)又は二の腕(上腕部)の外側のいずれかを選び、消毒綿で消毒し、乾かします。

※注射部位は主治医の指示に従ってください。



- 二の腕(上腕部)の外側に注射する場合は、操作方法の訓練を受けた方の手助けを受けてください。
- 皮膚に痛み、あざ、赤みがある部位や硬くなっている部位、傷跡や妊娠線がある部位、又は乾癬の部位には注射しないでください。
- ヘその周辺(3cm以内)には注射しないでください。
- からだの同じ部位に注射してもよいですが、注射する場所は前回から変えてください(前回の場所から3cm以上離れていることが目安です)。

## 簡単3ステップ 1

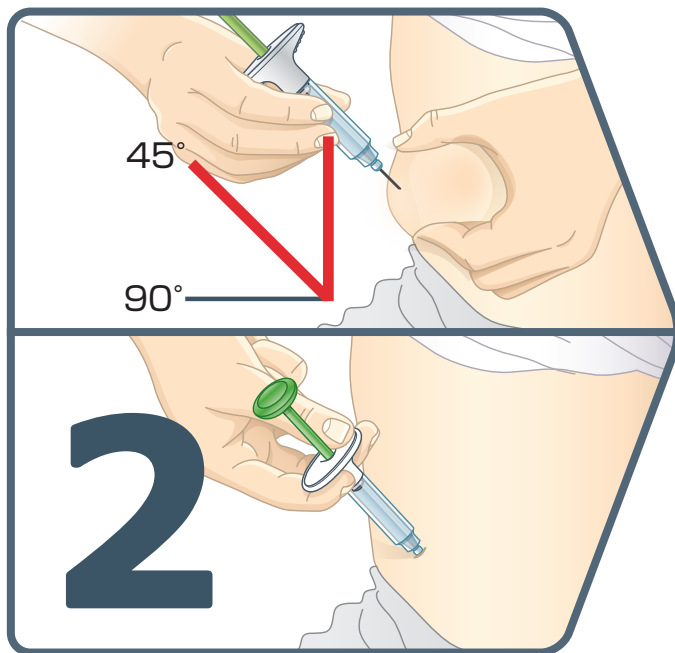


キャップを引っ張って外します。

外したキャップは

元に戻さず捨ててください。

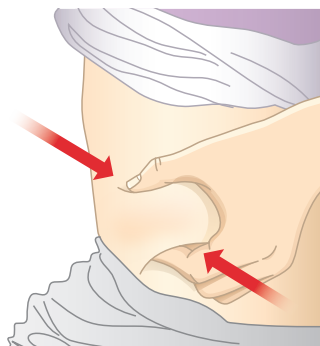
針に触らないでください。

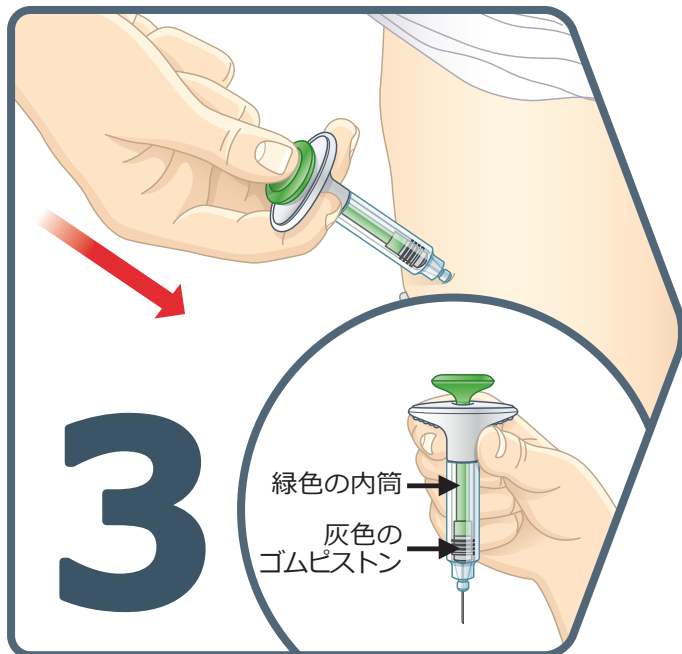


※お腹(腹部)への注射の例

皮膚に対して、  
45°の角度で針をさしてください。

注射する部位の皮膚を  
かるくつまんでから針をさし、  
その後はつまんだ皮膚から  
手を放しても構いません。





緑色の内筒を  
ゆっくり押し込みます。

薬液がすべて注射され、灰色のゴムピストンが注射器本体の針の根元まで来るように押し込んだ後、ゆっくりと皮膚から針を抜きます。カット綿、ガーゼ又は消毒綿を注射部位にあててください。

あざになることがありますので注射部位はもまないでください。



※図は一例です。専用廃棄用ボックス又は医療機関から提供された廃棄用の容器を使用してください。

使用済みの注射器は、専用廃棄用ボックスに入れる、又は専用廃棄用ボックスが無い場合は、廃棄用の容器に入れて廃棄してください。

キャップは元に戻さないでください。

使用済みの注射器は、主治医の指示に従って廃棄してください。

# よくある質問

**Q. 薬液の中に気泡があった場合は、どうしたらいいですか？**

A. 注射器は、皮下に薬液を注射します。皮下注射では、薬液の中に気泡があっても問題はなく、気泡は人体や投与量には影響ありません。

**Q. キャップを外した後、針先から薬液がもれていた場合は、どうしたらいいですか？**

A. 針先にしずくがついている程度であれば問題ありません。投与量には影響ありません。

**Q. 緑色の内筒が詰まっていたり、壊れたりして押し込めない場合はどうしたらいいですか？**

- A. ■ 本剤の使用をやめてください。  
■ 針を皮膚から抜いてください。  
■ トルツ®[お問合せ窓口]0120-526-382までお問い合わせください。

**Q. 注射が完了したことを確認するにはどうしたらいいですか？**

A. 緑色の内筒が外筒から透けて見えていて、灰色のゴムピストンが注射器本体の針の根元まで押し込まれていれば、注射は完了しています。

**Q. 注射を打ち忘れてしまった場合は、どうしたらいいですか？**

A. すぐに注射してください。その後はあらかじめ定めた日に注射してください。大幅に投与日が過ぎてしまった場合は、主治医の指示に従ってください。

本剤についてご質問がある場合は：

- 主治医にご相談ください。
- [お問合せ窓口]までお問い合わせください。

トルツ® [お問合せ窓口]

フリーダイヤル い つ も そ ば に

**0120-526-382**

通話料は無料です。携帯電話、PHSからもご利用いただけます。